

はじめに

令和6年度は、北九州市の可能性・ポテンシャルの「見える化」に取り組み、その成果が形として表れ始めた一年でした。

具体的な成果として、北九州空港や北九州港フェリーの貨物量、U・Iターン就職者、小倉城入場者数、モノレール輸送人員、ふるさと納税寄附金のすべてが市政の歴史上過去最高となりました。これは先人のご努力、そして北九州市が持つ人と人との「つながり」、熱い「情熱」、確かな「技術」力の賜物だと考えています。

とりわけ、令和6年における人口の社会動態が1964年以来60年ぶりにプラスとなったことは潮目の変化を示しています。

一方で、令和6年度の決算については、市税等は実質的に増収となりましたが、物価高の影響や扶助費、人件費、公債費などの歳出の増加が市税等の増収を大幅に上回りました。

また、政令指定都市で一番多い市民一人当たりの公共施設保有量による維持管理費など、本市が抱える課題が山積であることも事実です。

だからこそ、「稼げるまち」を創らなければならない、と考えます。

・財政の模様替えを行い、成長につながる分野に予算を移す。

・企業を呼び込み、投資を増やし、経済成長を促す。

それにより、財政を改善し、「彩りあるまち」「安らぐまち」を成長の果実として、市民の皆様へ提供する。

そのためには、まず財源を作らなければならない。財源がなければ、市民の皆様へ医療・福祉・文化・教育を十分に提供することもできません。

「強くなければ、優しくなれない。」を信念に、北九州市を豊かにし、市民の皆様を守るためにも、「稼げるまち」に取り組んでまいります。

「行動が、未来を動かす。」

これまでの北九州市の経済成長は市民の皆様のアクションによるものでした。

これからも、北九州市はAction!を合言葉に、未来の社会のために行動します。

現在のロゴの色は、パワフルで情熱的な赤を使用しました。

市民の皆様と一緒に、一歩ずつ未来を動かす意思をデザインしています。

つながりと情熱と技術で進みつつけるグローバル挑戦都市・北九州市を市民の皆様と一緒に目指しましょう。

**Kitakyushu
Action!**

動かせ、未来。北九州市



北九州市長 武内 和久

ー も く じ ー

登場人物紹介・プロローグ	1～2
令和6年度の特徴	3～4
市の現状	5～6
取組① 市政変革	7～10
取組② 令和7年度予算の特徴	
1. ボートレースによる未来のまちづくり投資基金	11
2. 次世代投資枠の事業	11
(1) 若者や子ども等への投資	12
(2) 産業基盤の強化・創出への投資	13
(3) 公共施設等の老朽化対策への持続可能なまちづくり投資	13
(4) その他の次世代投資枠	14
エピローグ	15～16
参考資料	
令和6年度決算（一般会計）の内訳	17
令和7年度当初予算（一般会計）の内訳	18
一般会計歳入決算額の推移、 市民1人当たりの市税収入と歳入に占める割合	19
地方交付税等決算額の推移、 市民1人当たりの地方交付税等と歳入に占める割合	20
一般会計歳出決算額の推移、 福祉・医療関係経費決算額の推移	21
投資的経費決算額と市民1人当たりの投資的経費の推移、 市債残高の推移、市民1人当たりの市債残高の推移	22
市民一人当たりの公共施設保有量、経常収支比率	23
中期財政見通し	24
令和6年度特別会計・企業会計決算	25
健全化判断比率等	26
財務書類	27